

脱炭素先行地域づくり事業

＜令和7年度 進捗状況（令和7年7月末現在）＞

■再生可能エネルギー発電設備整備

○小水力発電所の整備に向けた測量・設計

【令和6年度・令和7年度の2か年で実施】

- ・二又川小水力発電所（朝日町上青屋） 実施中（発注先（株）太陽建設コンサルタント）
- ・濁川小水力発電所（高根町野麦） 実施中（発注先（株）東洋設計）

【令和7年度・令和8年度の2か年で実施予定】

- ・宮川小水力発電所（一之宮町） 実施予定
- ・一色川小水力発電所（荘川町一色） 実施予定
- ・大坊本谷小水力発電所（久々野町小坊） 実施予定
- ・日和田川小水力発電所（高根町日和田） 実施予定

※環境省との入替協議済（計画提案書修正後、測量・設計実施可能）

「阿多粕下流、小鍋谷、右俣谷、左俣谷の4箇所」を「宮川、一色川、大坊本谷、日和田川」の4箇所へ入替（今後、銚子谷も入替協議予定）

○小水力発電所の整備に係る系統連系工事負担金

【令和7年度 実施予定】

- ・濁川小水力発電所（高根町野麦） 実施済（事業主体 井上小水力発電（株））
- ・二又川小水力発電所（朝日町青屋） 実施予定
- ・阿多粕上流小水力発電所（久々野町渚） 実施予定

○小水力発電所の整備のための水車調達・工事

【令和7年度・令和8年度・令和9年度の3か年で実施予定】

- ・阿多粕上流小水力発電所（久々野町渚） 実施予定
- ・黍生川小水力発電所（高根町黍生） 実施予定

【令和7年度・令和8年度の2か年で実施予定】

- ・水屋ヶ谷小水力発電所（高根町日和田） 実施予定

※関係行政機関（国、県、市）との許認可協議中

○木質バイオマス熱電併給設備3機導入

【令和7年度 実施予定】

- | | |
|----------------|-------------------|
| ・ボイラー3機及び乾燥機導入 | 実施中（事業主体（株）井上工務店） |
| ・系統連系工事負担金 | 実施中（事業主体（株）井上工務店） |
| ・配管、電気工事 | 実施予定 |

■電力切替による電力供給

【令和7年度 実施予定】

各町内会へ説明し、電力契約の切替を依頼

- | | | |
|--------------------------------|---------------------|----|
| ・野麦町内会 | 実施中（事業主体 飛騨高山電力（株）） | |
| ※野麦本谷小水力発電所（既設：196.1kW）からの電力切替 | | |
| ・阿多野郷町内会 | 実施予定 | |
| ※阿多野郷小水力発電所（既設：707.9kW）からの電力切替 | | ほか |

■普及啓発

【令和7年度 実施予定】

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| ・セミナー、シンポジウム開催 | 実施予定 |
| ・動画、冊子、チラシ作成 | 実施予定 |
| ・再エネ自給率見える化サービス修正等 | 実施中（発注先 中部電力パワーグリッド（株）） |

<令和6年度 実績>

■再生可能エネルギー発電設備整備

○小水力発電所の整備に向けた測量・設計

【測量のみ】

- ・二又川小水力発電所、濁川小水力発電所

【測量・設計】

- ・阿多粕上流小水力発電所、黍生川小水力発電所、水屋ヶ谷小水力発電所

○木質バイオマス熱電併給設備3機導入

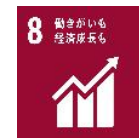
- ・設計、チップパー機購入、サイロ設置工事

■電力切替による電力供給

- ・塩屋町内会、久手町内会、巣野俣町内会

■普及啓発

- ・セミナー、特設ホームページ、再エネ自給率見える化サービス導入



2050市全域ゼロカーボンの実現を目指して

第4回脱炭素先行地域における取り組みについて

高山市が県内で初めて、環境省の脱炭素先行地域（第4回）に選定された。

高山市と共同提案者（14社、1社団法人）が、連携して脱炭素先行地域づくりの取り組みを推進する。

【脱炭素先行地域の概要】

二酸化炭素削減（脱炭素）モデルの先進的な事例として、2025年までに国内で少なくとも100箇所の自治体（共同提案者との事業）を選定し、選定された自治体は環境省から5年間で最大50億円（補助率3分の2）の支援を受けることができる。

1. 市の脱炭素先行地域における考え方

日本一の市域面積（うち森林面積92%）を有する高山市は、急峻な地形が多く、水が豊富であるなど自然エネルギーのポテンシャルが高い。

（令和4年3月末 FIT（国による固定価格買取制度）認定件数 水力発電 全国1位 地熱発電 全国5位）

市の脱炭素先行地域の取り組みは、豊富な水と急峻な地形を利用した小水力発電を中心に、木質バイオマス発電が小水力発電を補完する仕組みを構築し、自然エネルギーの地産地消による地域課題解決モデルとして2050年の市全域ゼロカーボンを目指す。

2. 脱炭素先行地域事業の内容

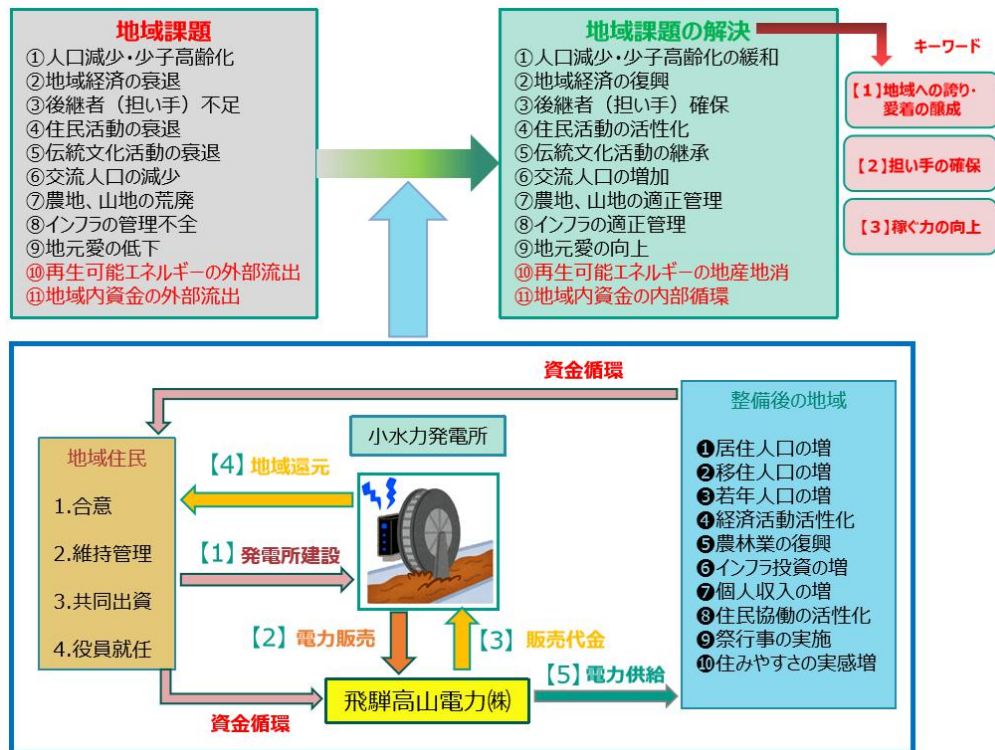
主な取り組み

- ① 5年間の事業期間の中で10か所の新規小水力発電所及び3か所の木質バイオマス熱電併給設備で発電された電力に加え、5か所の既存・着工中の小水力発電所の電力を新電力会社である飛騨高山電力（株）が買い取り、市内20エリア（小水力発電所立地11町内会及び9支所周辺）に供給する。（別紙1・別紙2参照）
- ② 小水力発電所建設に先立ち、発電事業者が地元住民の意向を確認したうえで、合意・維持管理・共同出資・役員就任の4つの手法を提示し、合意形成を図りながら協働で小水力発電所を整備する。（飛騨高山モデル）
- ③ 豊富な森林資源を活かし、木材をくまなく利用するため、製材端材を活用した木質バイオマス熱電併給設備を導入し、発電を行うとともに熱利用を推進する。
- ④ 自然エネルギー由来の電力供給量がリアルタイムで表示できる「見える化サービス」（中部電力パワーグリッド株式会社）による普及啓発や住民のウェルビーイング（幸福度）調査による効果測定を実施する。



これらの取り組みによる自然エネルギーの地産地消と地域内資金循環を実現することで、地域の活力を取り戻し、脱炭素社会の推進を図る。

【自然エネルギーの地産地消による地域課題解決のイメージ】



【飛騨高山モデルによる小水力発電所整備事例】

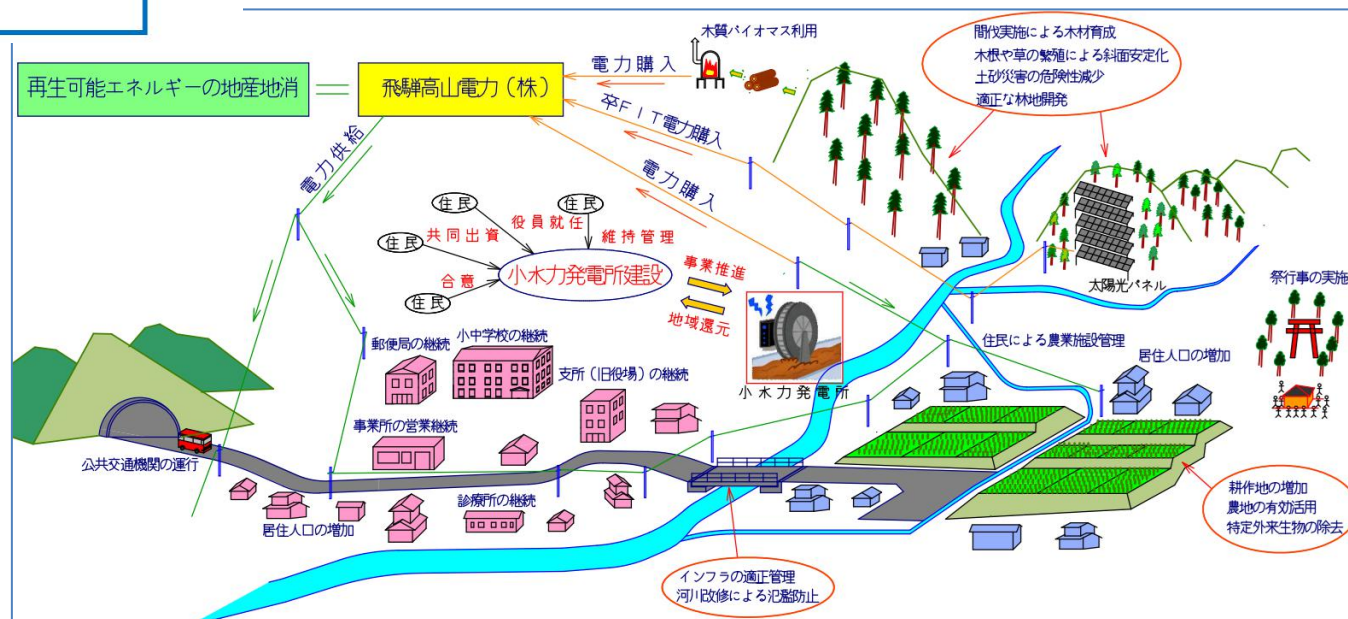
野麦小水力発電所 取水部



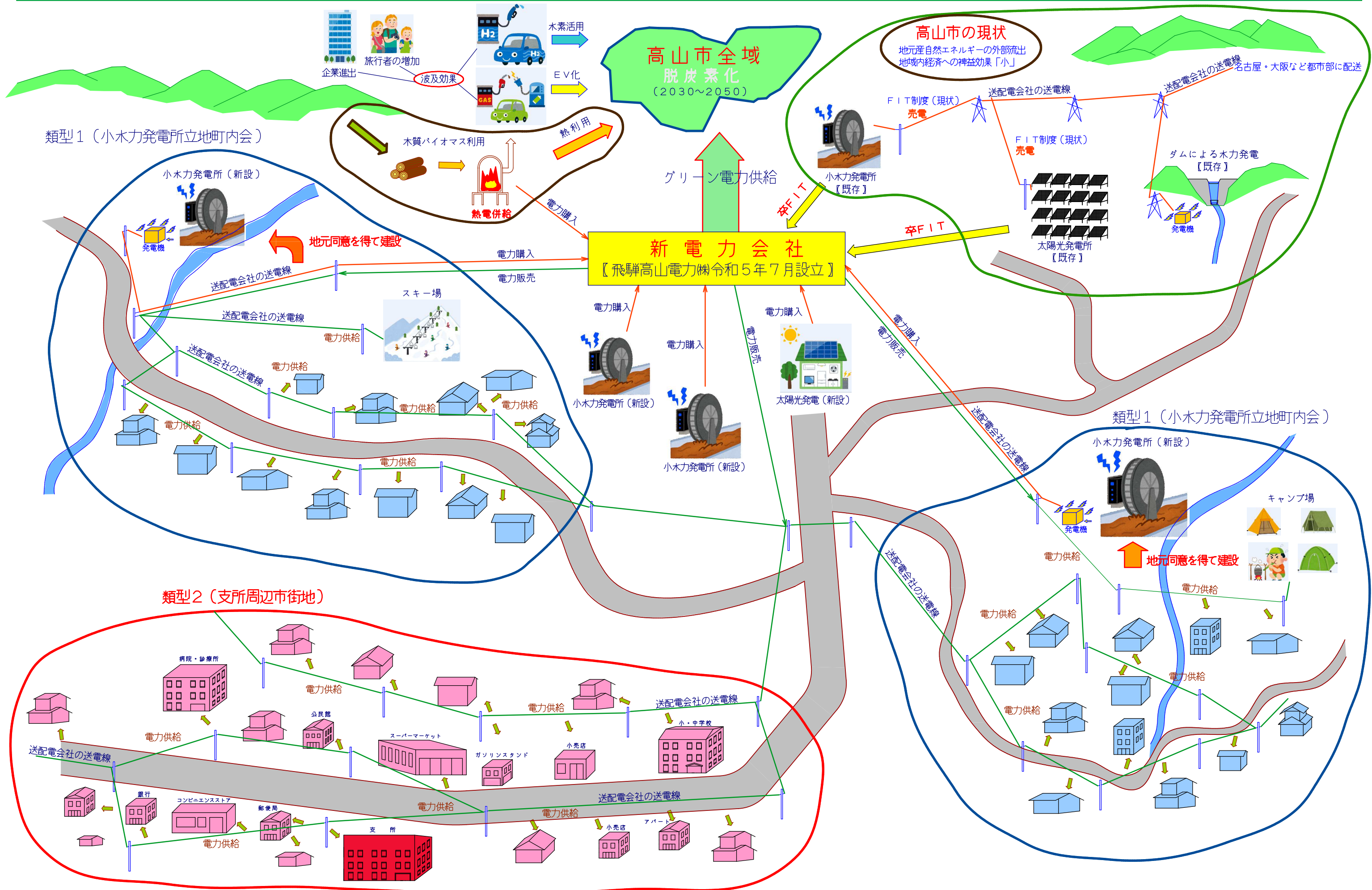
野麦小水力発電所 水車・発電機



野麦小水力発電所竣工式（R7.1.17）



【高山市】脱炭素先行地域概念図



【高山市】脱炭素先行地域エリア指定位置図

阿多野郷小水力発電所（既存）



地域協働型の小水力発電所整備

【飛騨高山モデル】

4. 役員就任
3. 共同出資
2. 維持管理
1. 合意

新設の目的会社の設立

取水口の維持管理など

町内会との合意

例	
○	市役所
○	支所・村役場
○	郵便局
○	発電所
○	工場
○	学校
○	病院
○	神社
○	寺院
○	堰

高山市全域図

